

平成 30 年 1 月 23 日
港 区 地 域 交 通 課

青山ルートの変更について(案)

1 審議事項

青山ルート 135 西麻布二丁目停留所利用者の赤坂見附駅方面の利便性改善のため、117-3 南青山七丁目停留所を再度設置し、日赤医療センターから青山高樹町、六本木通り、高樹町通り、南青山六丁目を経路するルートに変更します。

ルート変更案



2 ルート変更概要

(1) 経緯

青山ルートは、運行時間の短縮と日赤医療センターに関する要望を考慮し、平成 28 年 4 月から往復共に 197・198 青山高樹町を経由して 117-2 日赤医療センターに運行するルートに変更しました。このルート変更により、速達性が向上し、利用者が増えました。(表 1)

一方、利用者の多かった 117-3 南青山七丁目停留所(表 2)を廃止したことで、不便になったというご意見が多数寄せられました。

青山ルート概要

六本木ヒルズ～赤坂見附駅往復 1 週 約 11.2 km
往路 約 41 分 復路 約 36 分 運行間隔 全日 20 分

(表 1) 青山ルート年間利用者数

	平成 27 年度	平成 28 年度
利用人数	536,783	541,579

(表 2) 乗降人数調査

平成 26 年 7 月 16 日 (水)・12 日 (土) (ルート変更前)

	7 月 16 日 (水)		7 月 12 日 (土)	
	乗車人数	降車人数	乗車人数	降車人数
117 西麻布四丁目	31 人	20 人	21 人	25 人
117-3 南青山七丁目	84 人	8 人	45 人	8 人
118 南青山六丁目	34 人	22 人	32 人	15 人

(2) 課題

135 西麻布二丁目停留所から赤坂見附駅方面の復路となる 117 西麻布四丁目停留所の間には、都道の立体交差路と首都高速道路の出入口があり、最短経路の高樹町交差点地下通路は出入口が階段のみで、高齢者やベビーカー等にバリアフリー上の課題があります。

代替で 135-2 西麻布一丁目停留所手前の西麻布霞町交差点の横断歩道を経由すると、対面の 117 西麻布四丁目停留所まで約 690m の距離と坂があり、復路の停留所として利用に問題があります。

(3) ルートと停留所

階段のある地下道や遠方の横断歩道と坂を上る不便やバリアフリー上の課題を解決するため、117-2 日赤医療センターから 118 南青山六丁目方面で、197 青山高樹町を発車後、南青山七丁目交差点を右折、117-3 南青山七丁目停留所（新設）を経由して、118 南青山六丁目に至るルートに変更します。

六本木通りから高樹町通りへは鋭角の左折になりますが、交差点の幅員があり、交通島にある停留所への正着に交通安全上の問題はありません。

(4) 運行計画で路線に配置する事業用自動車の長さ、幅、高さ、総重量

長さ	幅	高さ	総重量
699cm	208cm	310cm	7820kg

3 今後のスケジュール (予定)

平成 30 年 1 月	運輸局への路線延長と停留所の位置変更、運行計画変更申請
2 月	運輸局の認可、事前広報、バス停移設工事
3 月	ルート変更、運行開始

ちいばすについて

1 運行改善の内容

①ダイヤ改正

平成 29 年 7 月 10 日から、朝 8 時台始発となっている下記ルート of 始発便を 1 便早め、7 時台の始発とし、利便性の向上に努めました。

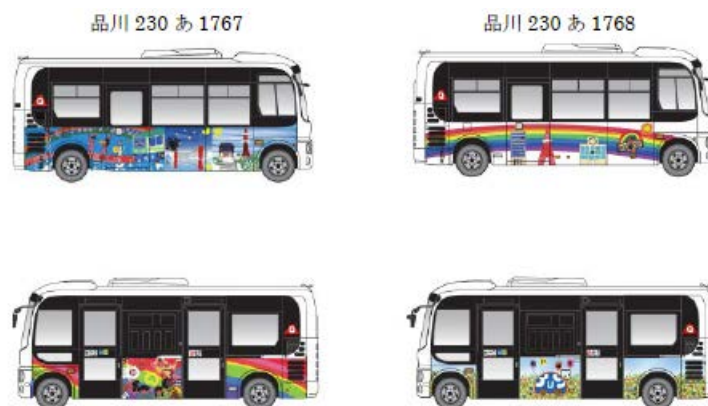
	ルート名	始発停留所	改定前	改定後	備考(車両の動き)
1	田町ルート (車庫発着便)	芝浦車庫	—	7:00	下記2のための増便
2	赤坂ルート	六本木ヒルズ	8:00	7:40	上記1から
3	芝浦港南ルート	品川駅港南口	8:03	7:43	回送車両の実車運行
4	田町ルート	六本木ヒルズ	8:13	7:58	田町ルートからの復路
5	車庫発着便	芝浦車庫	—	7:45	復路6のための増便
6	車庫発着便	田町駅東口	8:44	7:59	増便、上記5の復路

また、乗客数の少ない 19 時以降の運行時間を最終便の時刻の変更をせず効率的調整により振り替えました。

	ルート名	始発停留所	19時以降	改定後
1	赤坂ルート	六本木ヒルズ	4便	3便
2	芝浦港南ルート	品川駅東口	5便	4便
3	芝浦港南ルート	田町駅東口	3便	2便

②EVバス導入

平成 29 年 9 月より、省エネルギーで地球温暖化防止に貢献する EV バスを 2 台追加導入いたしました。芝ルート (みなとパーク芝浦～新橋駅) において合計 4 台が運行中です。



2 利用人員と運行収支の見込み

①ちいばす全ルート of 平成 28 年度実績及び平成 29 年度想定は以下のとおりです。

【平成28年度】

●路線別乗車人員

・田町ルート	860,716名
・赤坂ルート	293,930名
・芝ルート	312,823名
・麻布東ルート	128,848名
・麻布西ルート	334,440名
・青山ルート	541,579名
・高輪ルート	769,379名
・芝浦港南ルート	659,470名
― 合計	3,901,185名

●路線別収支率

・田町ルート	93%
・赤坂ルート	48%
・芝ルート	33%
・麻布東ルート	19%
・麻布西ルート	54%
・青山ルート	61%
・高輪ルート	102%
・芝浦港南ルート	71%

●全体収支

1 収入	
① 運賃収入	255,278千円
② 広告料ほか	11,558千円
計 (A)	266,836千円
2 経費	
① 運行経費 ※1	450,143千円
② 一般管理費	20,144千円
計 (B)	470,287千円
3 収支率	
(A÷B)	57%

※1 運転士経費、燃料費、その他経費の合計

※2 対前年度比

【平成29年度(想定)】

●路線別想定乗車人員

・田町ルート	889,992名	対前年
・赤坂ルート	291,303名	103%
・芝ルート	284,094名	99%
・麻布東ルート	132,730名	94%
・麻布西ルート	341,307名	103%
・青山ルート	569,881名	102%
・高輪ルート	779,999名	105%
・芝浦港南ルート	646,021名	101%
― 合計	3,935,327名	98%

●路線別想定収支率

・田町ルート	92%	-1% ※2
・赤坂ルート	48%	0%
・芝ルート	28%	-5%
・麻布東ルート	22%	3%
・麻布西ルート	55%	1%
・青山ルート	63%	2%
・高輪ルート	102%	0%
・芝浦港南ルート	70%	-1%

●全体想定収支

1 想定収入	
① 運賃収入	255,003千円
② 広告料ほか	11,416千円
計 (A)	266,419千円
2 想定経費	
① 運行経費 ※1	462,848千円
② 一般管理費	20,144千円
計 (B)	482,992千円
3 想定収支率	
(A÷B)	55%

対前年
(-2%) ※2

※平成 29 年度（平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月まで）の収入および経費の算定は、平成 29 年 4 月から平成 29 年 12 月までの実績額と平成 30 年 1 月から平成 30 年 3 月までは前年同月の実績額を足した額を想定としています。

※なお、各ルートの経費の額については、経費の項目毎に運行距離、車両台数、運転士の人数等をもとに按分率を設定し算定しています。

②平成 29 年度想定数値のルート別 対前年比較について

- ・ 田町ルート（収支率－1%、乗車人員 103%）

お客様からの要望が多く寄せられていた車庫発着便の増便に 7:00 台の始発前倒しを含めて利用者の利便性の向上に対応した事による効果が出ております。

- ・ 赤坂ルート（収支率＋－0%、乗車人員 99%）

赤坂見附駅において東京空港交通株式会社（以後リムジンバス）とちいばす乗継ぎを開始したが、実質的な効果は見られませんでした。

- ・ 芝ルート（収支率－5%、乗車人員 94%）

虎ノ門新駅設置工事に伴う経路変更により運行距離（時間）が伸び経費が増えたことによります。

- ・ 麻布東ルート（収支率+3%、乗車人員 103%）

平成 29 年 2 月より、沿道の自転車走行空間整備で「88. 法務局入口」バス停を廃止しています。

- ・ 麻布西ルート（収支率+1%、乗車人員 102%）

運行に影響する取組み等はありませんでした。

- ・ 青山ルート（収支率+2%、乗車人員 105%）

国道 246 号線に広告ベンチ付き上屋 4 基を設置し、お客様の利便性の向上を図ったことによります。

- ・ 高輪ルート（収支率＋－0%、乗車人員 101%）

運行に影響する取組み等はありませんでした。

- ・ 芝浦港南ルート（収支率-1%、乗車人員 98%）

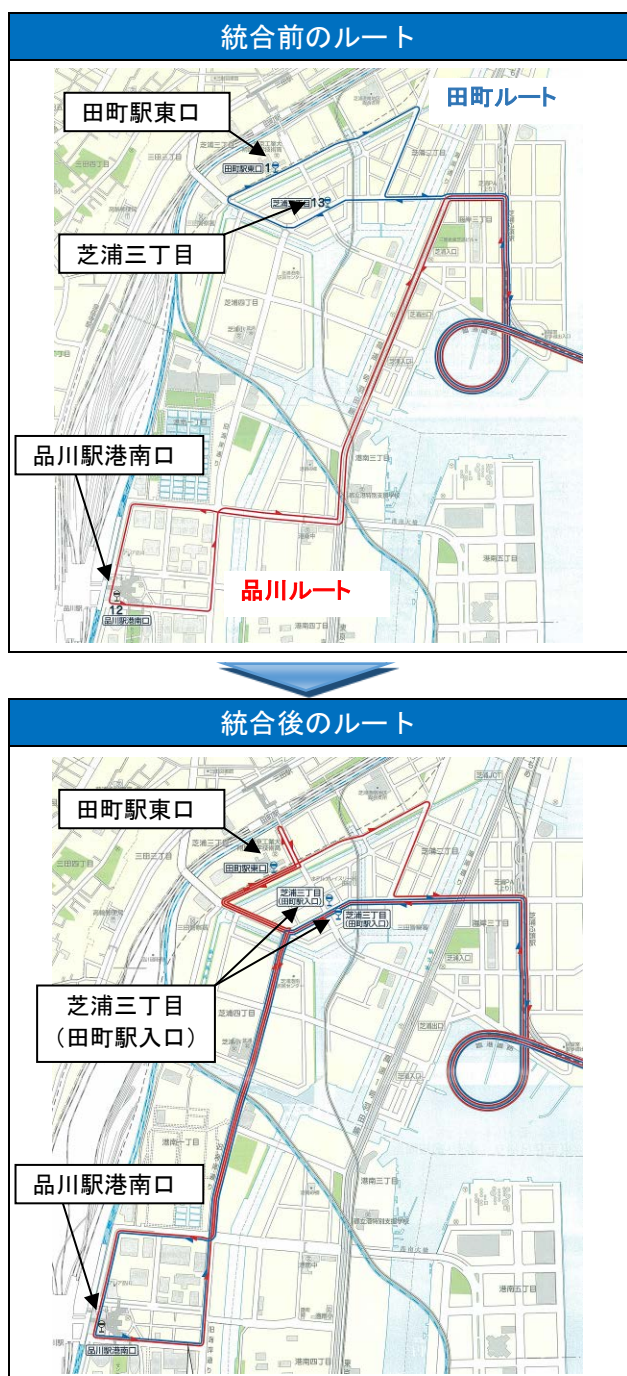
お客様の要望で朝 7:00 台に運行開始を前倒しで実施しましたが、現状はまだ効果が表れておりません。

ちいばす全体の平成 28 年度実績は 57%、平成 29 年度の想定収支率は、55%です。次年度以降は 60% 超の収支率を継続的に維持できるよう経営努力に引き続き努めて参ります。

台場シャトルバスについて

1 運行改善の内容

平成 29 年 4 月 1 日から、お台場レインボーバスの田町ルートと品川ルートを統合し、全便品川駅港南口発着に変更しました。



★「芝浦三丁目（田町駅入口）」バス停新設

- 台場方面は、現行の「田町駅東口」と合わせて 2 つのバス停が利用でき、田町から台場へは 2.5 倍に増便しました。
- 「品川駅港南口」発着の便数も 1.5 倍に増加しました。

★ 所要時間の短縮

- 「品川駅港南口」から「お台場海浜公園駅前」までは、「芝浦三丁目」経由でも今までと変わらず最短 17 分でアクセスできます。
- 田町から「お台場海浜公園駅前」までは、新設の「芝浦三丁目」から乗車すると最短 8 分で到着し、お台場へのアクセスがより便利になりました。
- ルートを海岸通りから渋滞の少ない旧海岸通りへ変更し、定時性が向上しました。

★ 全ての車両が大型に

- 平成 29 年 8 月に、中型車両 3 台を大型車両 3 台（車両定員 81 名、座席数 34 名）に入れ替え、全車両が大型車で運行となり、車内環境が向上しました。
- また、ベビーカーが前扉から乗車できるようになるなど、輸送力が向上しました。

2 利用状況

平成 28 年 4 月～12 月と平成 29 年 4 月～12 月の利用者数を比較すると、月平均で約 1.1 万人、9 か月で約 10 万人増加しており、増加率は 22%となっています。

	利用者人数		増加人数	対前年比
	平成28年	平成29年	H29-H28	H29/H28
4月	45,259	52,258	6,999	116%
5月	49,336	59,634	10,298	121%
6月	46,815	60,954	14,139	130%
7月	51,712	65,638	13,926	127%
8月	57,537	70,815	13,278	123%
9月	50,325	61,692	11,367	123%
10月	52,653	60,708	8,055	115%
11月	48,580	59,886	11,306	123%
12月	51,243	62,469	11,226	122%
合計	453,460	554,054	100,594	122%

3 本年度の検討内容

お台場レインボーバスの事業性改善を目的に、下記の取組を実施しました。

調査結果を踏まえ、運行改善について検討しています。

ニーズ調査	バス利用者へのアンケート調査	配布日：平成 29 年 9 月 10 日（日）、9 月 12 日（火） 配布数：1,987、回収数：693 回収率：34.9%
	台場 1・2 丁目住民へのアンケート調査	配布日：平成 29 年 9 月 12 日（火）～9 月 15 日（金） 配布数：2,300、回収数：501 回収率：21.8%
利用実態調査	OD 調査（起終点調査）	平成 29 年 9 月 29 日（金）、9 月 30 日（土）の 2 日間、全便
広報啓発	バスマップ・時刻表（英語版）の作成	3,000 枚作成